

2020年7月13日

『太田さんの思い出』

(公財) 留学生支援企業協力推進協会評議員  
ヒゲタ醤油株式会社相談役  
濱口敏行

今年の初めの2月7日に突然太田さんの訃報をうかがった時の驚きは忘れられません。あの元気な太田さんがどうして？ 昨年9月には留学生を連れられて、銚子に來られ、私共の工場の見学をされました。私は事情で一緒出来ませんでした。打ち合わせのお電話でお元気な声を伺ったのが、最後になるとは、何とも言えない複雑な思いに襲われました。

太田さんとのお付き合いは、私が、2000年に経済同友会に入会したときに始まりました。それ以来20年にわたり、お世話になりました。私が2001年に同友会の幹事になってからは、委員会や幹事会でよくお目にかかり、お話したものです。

太田さんとはとにかく熱血漢で、よく勉強されており、事務局の論客のおひとりでした。こちらがひとつ話すと10ぐらいの答えが返ってきました。面白い方でしたし、また啓発されました。

2009年の5月には、留学生をインタビューに行かせるから、当社の歴史、経営方針、日本の経営とCSRなどについて話をしてほしいと頼まれ、中国からの留学生の方たちでしたが、楽しい会話をした事を思い出します。2009年6月に私が、留学生支援協会の評議員になってからは、さらに深いお付き合いをさせていただきました。

2014年の9月には、太田さんから、留学生を連れてゆくので、工場の見学をさせてほしいと依頼されました。工場見学のあと犬吠埼にあるぎょうけい館という旅館で、昼食を皆さんとともにして、大変楽しいひと時を過ごしました。

それ以来私どもの工場には、数回こられました。必ず留学生の皆さんの感想文を送ってくださり、大変参考になりました。

また銚子は東京より若干遠いので、近隣の見学も含めて、2日間の日程にして、宿泊は犬吠のぎょうけい館にしたいとおっしゃるので、それはいいアイデア

ですね、留学生たちも温泉宿で一泊して、くつろげれば、とてもよい懇親になるのではないですかと申しあげました。それ以来、上総方面には2日の日程で来られています。

太田さんの留学生に接する態度は真摯で、実直で留学生一人ひとりの事を考えて、親のように相談に乗っていらっしやいました。あの太田さんの留学生一人ひとりに対する情熱には素晴らしいものがあったと感じます。

太田さん亡き後、留学生支援協会をめぐる社会環境は厳しいものがあると思います。国の支援はない、企業の所有している独身寮はますます少なくなっており、コロナの影響で、留学生は厳しい経済状況に置かれています。

もちろんグローバル化の進んだ今各大学の留学生のための独身寮とか、民間の宿泊施設は昔に比べれば、はるかに整えられてきていますが、なんといっても留学生にとってのコスト、負担はものすごく大きく、この留学生支援協会の社会に対して果たしている役割も以前にもまして、大きいものがあると感じています。

最後にあの熱血漢太田さんの築かれてきた支援協会の社会的責任を守り、さらに発展されること、また各経済団体の皆様の更なるご支援をお願いして、私から太田さんへの追悼の言葉とさせていただきます。

太田さん やすらかに ！

